

学びのサポート

本校では卒前・卒後を一貫した教育体系で捉え、多種多様な教育サポートを実施。
幅広い視点から知識と技術、臨床力の向上を目指し、即戦力の医療人を育成します。

インターンシップ

学生が希望する分野の協力施設（鍼灸院、あん摩マッサージ指圧院、接骨院、病院、介護予防サービス施設、スポーツトレーナーなど）で実際の業務を見学します。実習前後の講義のほかレポート提出や報告会を行い、学生の情報共有を促します。

選択科目・特別講座

全日制 昼間部では必修科目のほかに、選択科目や特別講座を受講することができます。「将来は開業したい」、「病院や介護施設で働きたい」、「スポーツトレーナーになりたい」、「美容医療に携わりたい」、「国家試験対策を強化したい」など、個々の進路や希望に沿った多彩な講座を設置しています。

選択科目・特別講座の一例

大師流小児はり、ドラウタピリティー、メディカルハーブ、美容鍼灸、介護健康指導講座
※選択科目・特別講座はP12・16・22・24でも紹介しています。



3月 包帯コンテスト

対象：柔道整復科1・2年生

柔道整復学の重要な固定技術である包帯法について、「いかに速く、美しく、効果的に巻けるか」を団体戦と個人戦で競います。



定期試験（学科・実技）補習・個別指導

学期の節目ごとに、必要とされる学力・技術力の到達レベルを確認します。レベルが十分でない場合は、補習や個別指導で支援します。

7月下旬～8月上旬

上海中医学大学短期留学（中国研修）7～10日間

国際学術交流の場として1985年から行っている短期留学。中国伝統医学をコース別に体験でき、解剖コースでは日本では経験できない人体解剖実習が行われます。

《現在のコース設定》

- 解剖コース／基礎医学の中でも、もっとも重要な解剖学の理解が立体的に深められます。
- 総合コース／鍼灸・推拿（手技）・解剖を総合的に体験するコース。（1年生も参加可能）



10-2月

公開講座／年4回

埼玉県の鍼灸師会や接骨師会を通じて、地域のはり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師を対象に開催。学生はプロの知識や考え方に触れ、質問や議論に加わることで将来目標を定め、学習意欲を高めていきます。呉竹会所属の卒業生も参加できます。

平成28年度実施例

- 医療現場における感染症対策～HIV看護を通して～
- 一次性頭痛に対する鍼治療効果
- 病気になる身体作りII
- 柔道整復とスポーツ

校内の施術所を利用した臨床実習

校内の施術所を利用し、それまでの授業で学んだことが実際の医療現場でどのように行われているかを体験します。

《鍼灸マッサージ科・鍼灸科》

- 一般患者さまへの施術を見学する実習
- 一般患者さまへ施術を実際に行う実習
- 施術患者さまに関する症例報告書の作成

《柔道整復科》

- 身体各部位の傷病に対応した検査法の実習
- 固定材料や物理療法機器を扱う実習 など



10月

呉竹医学会学術大会

呉竹学園3校の在校生・卒業生・教職員でつくる学術大会です。著名な臨床家や医師による特別講演をはじめ、実技セッション、一般口演、分科会で構成され、研究発表を通じた3校間の活発な学術交流の場にもなっています。普段の授業や実習で身につけた理論的・科学的な思考が、アンケート調査や実験結果などをまとめる力として生かされます。

《実施概要》

- 特別講演・教育講演・実技セッション・一般口演
- 症例報告会・分科会



卒業後のサポート

卒業臨床研修制度

本校卒業生を対象に、附属施術所・附設クリニックの研修生として、教員・スタッフが基本的な臨床能力の向上をサポートします。

《過去の実施例》

- 診察時に役立つ介護術・美容鍼
- 初歩の臨床介護術・美容マッサージ
- 効かせる灸治療の実践



スポーツトレーナー養成講座

2016年より開講

国際的に信頼性の高いトレーナー資格であるNSCA認定資格「CPT」「CSCS」の取得を目指す講座です。医療系国家資格とスポーツ系ライセンスを併せて学べる県内初の講座で、あらゆる場面で活躍できるトップクラスのトレーナーを養成します。

POINT

① ロープライスな受講費用

本校スポーツ系専門学校 約30万円
平均80-100万円
※2016年調べ

POINT

② 充実した設備

学校から徒歩5分の「ジェクスサー・フィットネススクラブ大宮」と提携し、充実した設備で実技授業を行うことで、知識だけではなくトレーニングへの理解を深めます。

POINT

③ 実績ある指導体制

業界を牽引し、トレーナー育成においても多くの実績を持つ「合同会社WINGATE」から講師を招いて授業を行います。

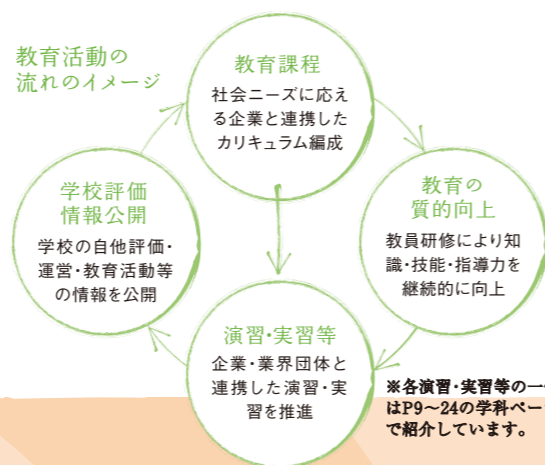


○次年度以降の実施予定については、本校にお問い合わせください。
〈対象学科〉鍼灸科I部・II部／柔道整復科I部・II部
※本校の卒業生も対象となります。

文部科学大臣認定「職業実践専門課程」

2014年3月、本校の全5学科が、文部科学大臣より「職業実践専門課程」に認定されました。これは、職業に必要な実践的かつ専門的な能力の育成を目的に、文科省が新たに設置した専修学校専門課程の認定制度です。業界と直結し、企業などと連携した講義・実習を通じて、学生は実際の現場に即した知識や技能を体系的に習得することができます。

教育活動の流れのイメージ



※各演習・実習等の一例はP9～24の学科ページで紹介しています。

附設クリニックと連携した実践スキル養成

本校に附設した呉竹メディカルクリニックは、地域医療を担うとともに、医師は各学科の臨床実習や講義授業も担当。リハビリテーションスタッフや施術所の研修生との症例検討会、卒後研修など、さまざまな形で医療人の養成に取り組んでいます。

現実の医療現場に身を置ける絶好の環境で、臨床医学に基づく真の実践教育を目指しています。

呉竹メディカルクリニックは、東西医学を融合した統合医療で地域に貢献すると同時に、呉竹学園の人材教育への参画を目的とする総合クリニックです。内科、漢方内科、整形外科、婦人科、皮膚科のほか、リハビリテーション科などを設置し、全診療科目の医療実務や臨床データが呉竹の実践教育に生かされています。私は大学の医学部でも授業を行っていましたが、呉竹の学生の学びに対する積極性には感心しています。その真剣さ、修得レベルの高さは、リハビリテーションスタッフとして働く呉竹学園卒業生たちの活躍からも実感しています。実習授業では、実際の患者さまの診察や治療を見学する機会も少なくありません。学校とクリニックが一体となったこの環境で、現実の医療とはどういうものかを教授するとともに、医療人としての意識なども指導していきたいと考えています。

呉竹メディカルクリニック 院長 有沢 治

